

被災地カーシェアリング報告



平成24年7月6・7日



一般社団法人
日本カーシェアリング協会
Japan Car Sharing Association

吉澤武彦

TEL 0225-22-1453

E-mail info@japan-csa.org

「やってみたら
どうや？」

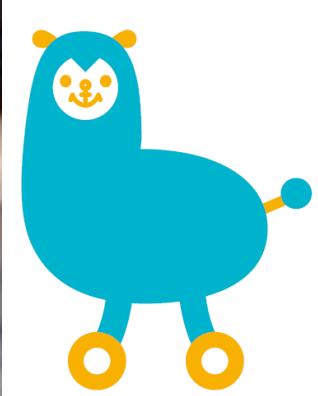


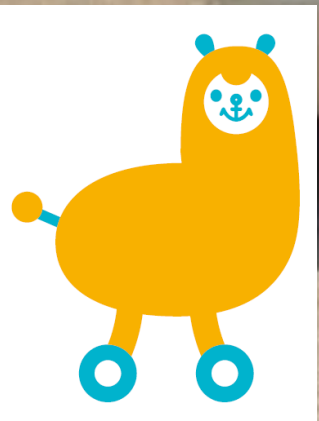
会社四季報

3641号 2012年12月1日発行 完全2期予想



4月20日。東京にて。立ち上げメンバーです。



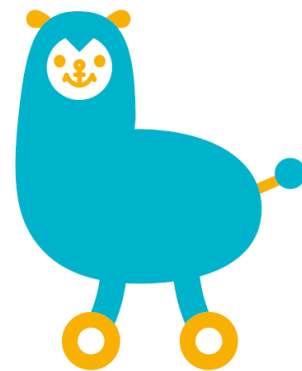


一番最初に車両（スプリンター）を提供いただいた
タカラ物流システム株式会社様です。



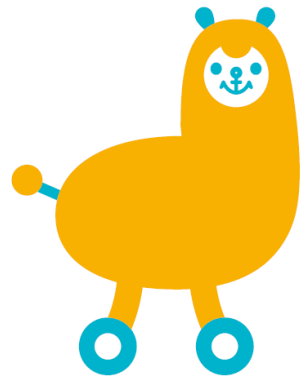


6月、ガリバーインターナショナル様との会合。
主旨に賛同して頂き、ご協力いただける事に。



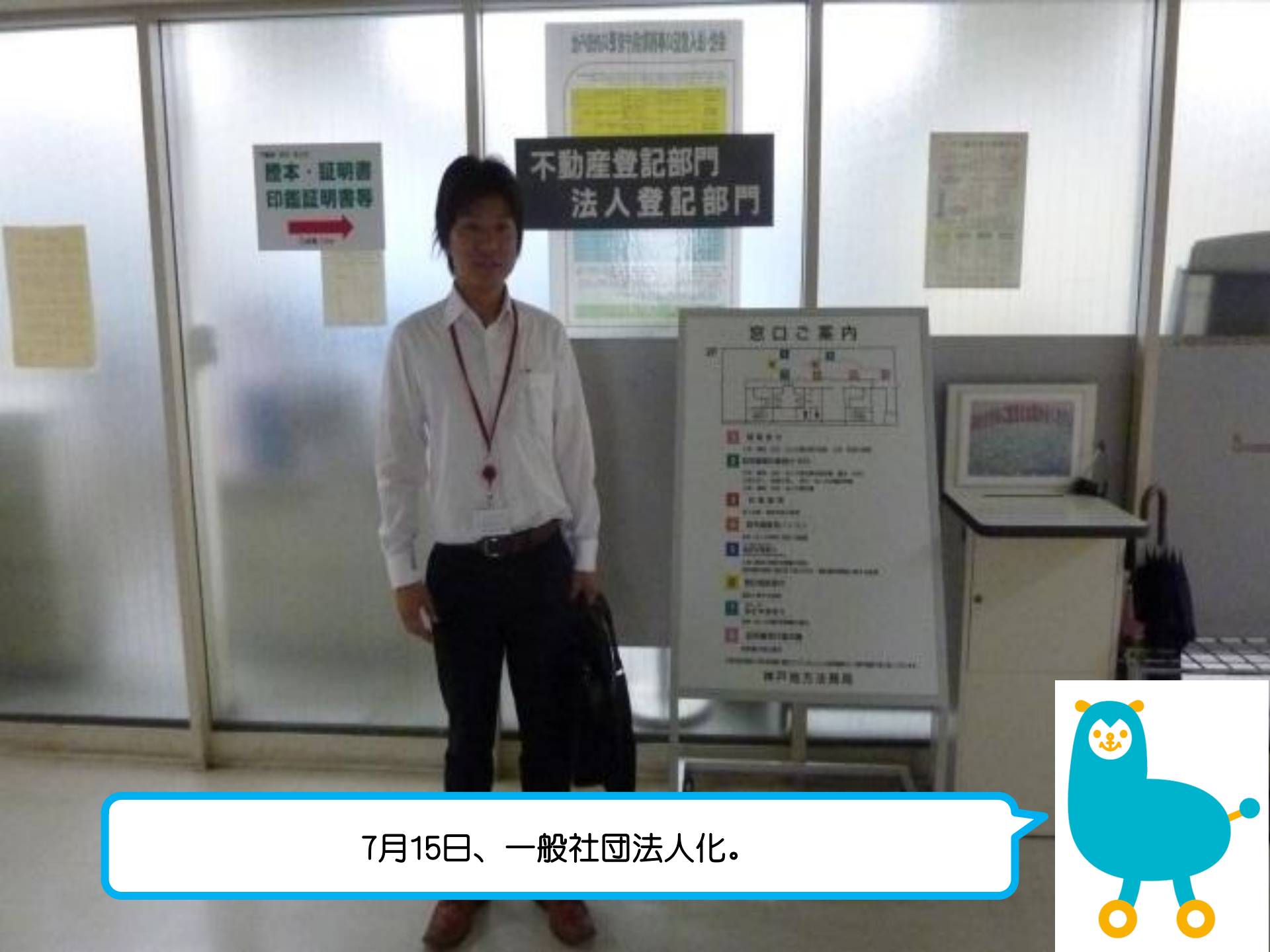


6月中ごろ。石巻市入りし、仮設住宅調査。
提供先の仮設住宅『仮設万石浦公園』から始める事が決まる。





日本のカーシェアリングの実践者・研究者から情報を集めていきました。



不動産登記部門
法人登記部門

謄本・証明書
印鑑証明書等
→

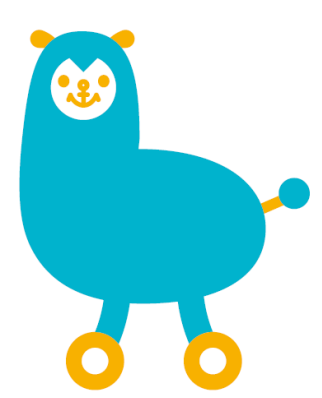
窓口のご案内

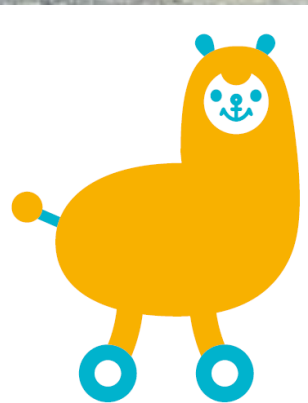


- 1 受付窓口
- 2 不動産登記課
- 3 法人登記課
- 4 課長室
- 5 総務課
- 6 庶務課
- 7 秘書課
- 8 印刷課

詳しくは方法書

7月15日、一般社団法人化。

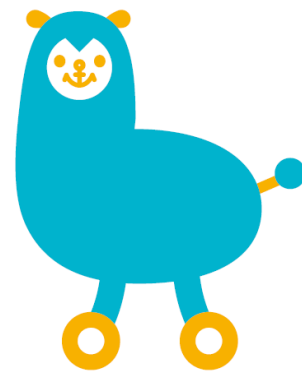




7月24日。最初のカーシェアリング（テスト運行）が
仮設万石浦団地にて始まりました。



運輸局、石巻署、宮城県警と一カ月以上にわたる協議の上管理体制・運用体制が決まる。



<仕組みを作る上での主な課題とそれに対する対応>

利用者

•名義人に誰になるか？

→協会名義

•経費の捻出をどうするか？

→カンパで積み立て

県警

•管理者は誰？

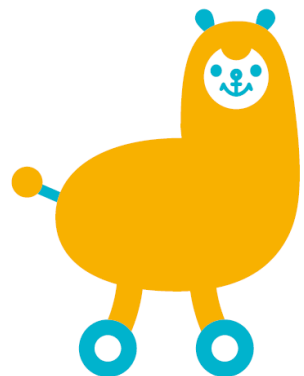
→利用者の責任者が協会の社員となり管理を行う

運輸局

•関連業界との折り合いを
どうつけるか？

→無料。経費の捻出が必要な場合はカンパで賄う。

それぞれと話をしながら、それぞれの立場を理解して、
その間にある1点を探す作業を行っていきました。

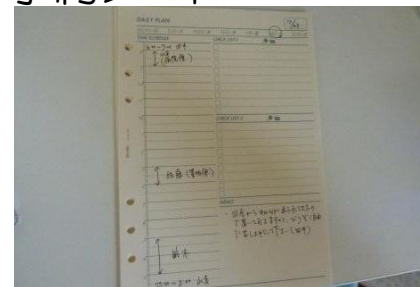


<基本的な仕組み> ● 運行日誌

- 名義 日本カーシェアリング協会名義
- 保険 協会が各車両毎に掛ける。
1口1000円の寄付(くるま基金)で捻出
- 車庫証明 利用者の代表「正会員」の自宅が「使用の本拠」各利用場所で車庫証明を取得。
- 鍵の管理 「正会員」に委託された担当者が管理。
(利用頻度の高い人が管理)
- 申込み退会届 代表(正会員)が窓口。
利用申込書と免許証のコピーを提出。



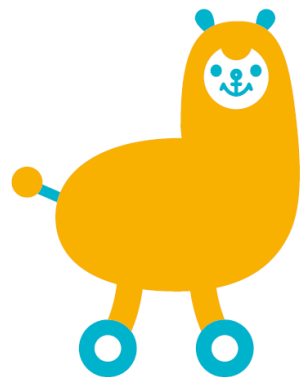
● 予約ノート

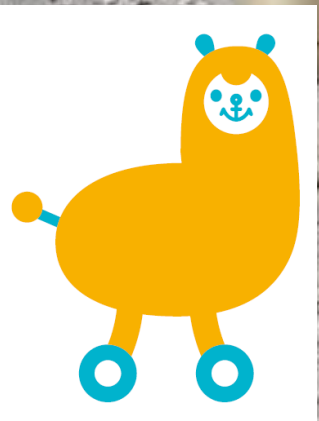


● カンパ



基本的な型。それ以外のルールは、利用者の方に任せている。

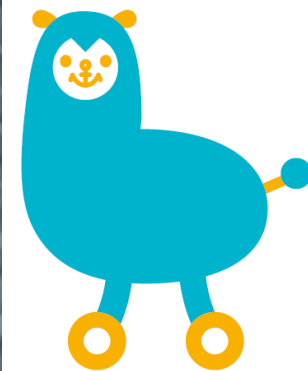


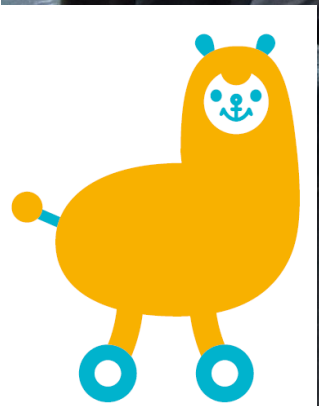


10月20日。最初の本格運行始まる。



11月在宅でのカーシェアリングスタート。

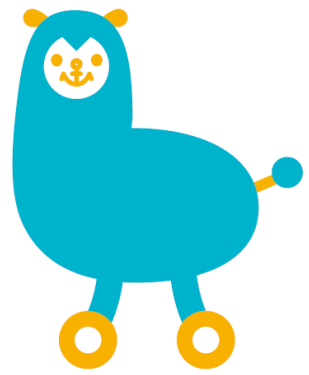


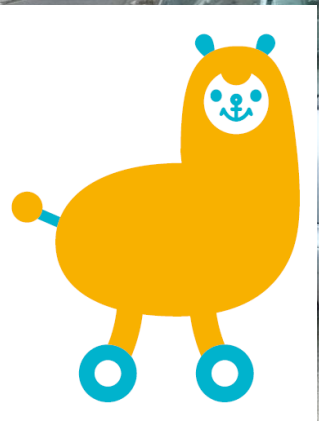


1月11日、ガリバーインターナショナル様から25台の車両の提供を受ける。

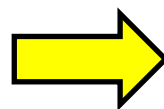


2月石巻市の委託を受け、『カーシェアリング・コミュニティ・サポートセンター』設立。





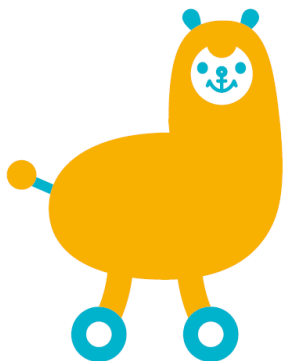
3月。石巻市以外の場所（一関市、東松島市）にて
カーシェアリングスタート。



日本カーシェアリング協会
Japan Car Sharing Association



協力: 東京学芸大学正木賢一研究室



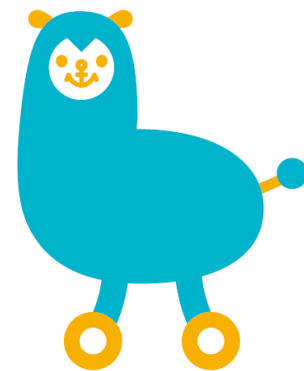
オリジナルキャラクター



協力：満月屋

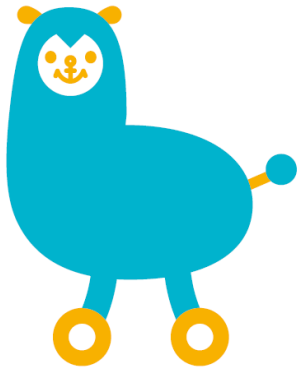


天ぷらカー



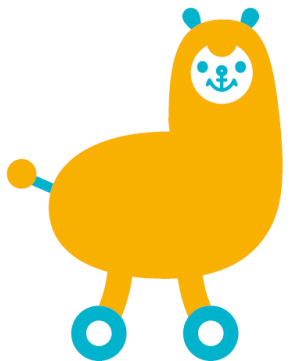


総会



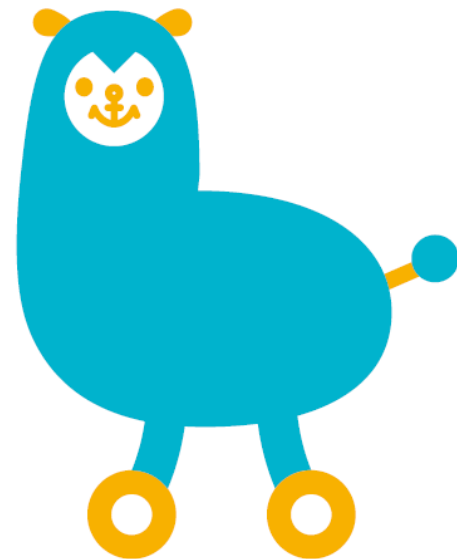
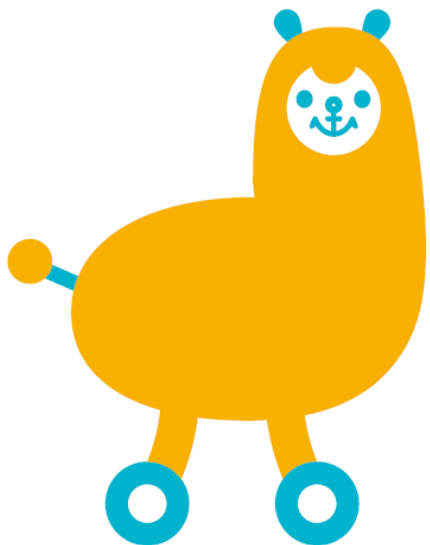


乗合で参加できるイベントを。
定期的に利用者が集まる機会を。



毎月イベント

コラボレーション

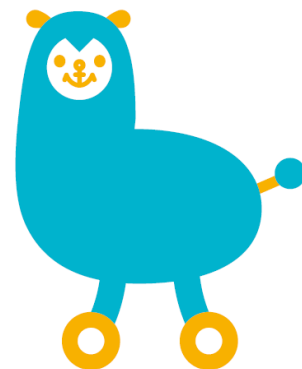




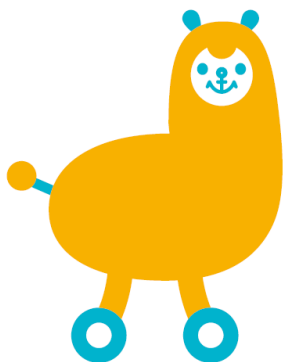
協力: 日本工科専門学校

タイヤ提供: ダンロップ、ミシュラン、
トーヨータイヤ

タイヤ交換・点検整備

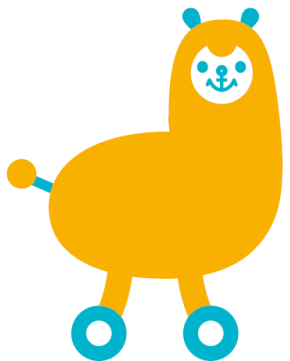


協力：自動車学校



安全運転講習

協力:石巻専修大学経営学部経営学科山崎ゼミ

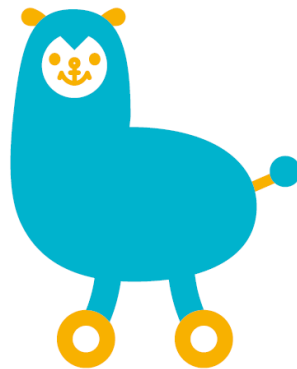


学生送迎事業

協力:石巻専修大学経営学部経営学科竹中ゼミ



会計タイアップ



平成24年7月現在の状況

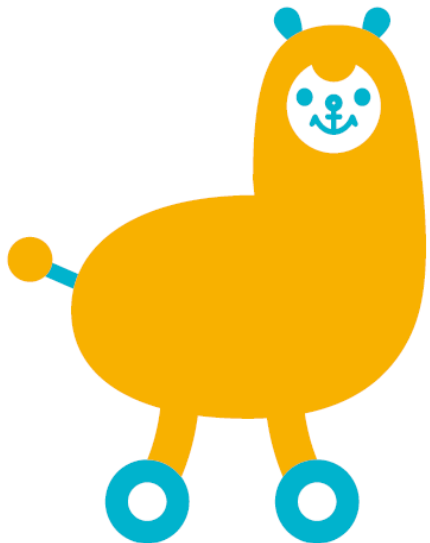
車両台数：59台

利用者数：182名

実施自治体：石巻市、一関市、気仙沼市

常勤スタッフ：3名（地元1名）※1名募集中

非常勤スタッフ：5名（全員地元）



<想定していた課題と現状>

●もめごとの原因に…

把握している件数 0件

●一人の人が独占して…

頻繁に利用する人とそうでない人が共存。現状特に不満は生まれていない場合が多い。

●活用されない…

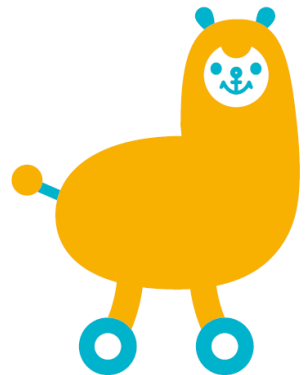
時間と共に活用頻度増える。

●予約が重なるのでは…

1台あたり3名程度。最初の段階の調整が肝心。予約が重なる苦情はほとんど聞かない。

●マナーが守られないのでは…

・煙草の吸殻 2件
・ガソリンが満タンになっていなかった… 2~3件

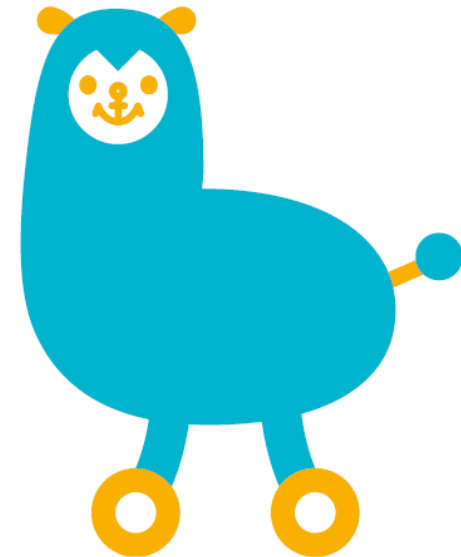
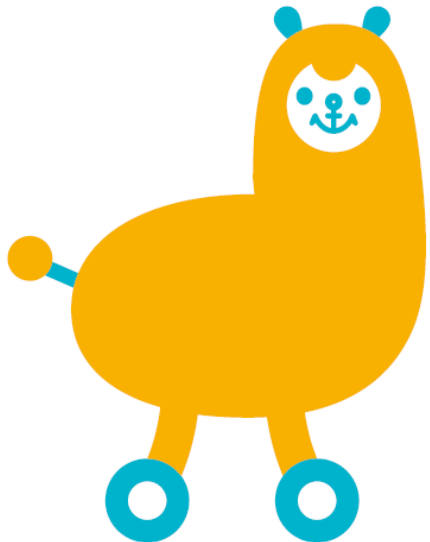


大きな経費負担が訪れるこれからが正念場

私達が目指しているのは

車を共同で使う社会を作る

『免税』と『保険商品の開発』

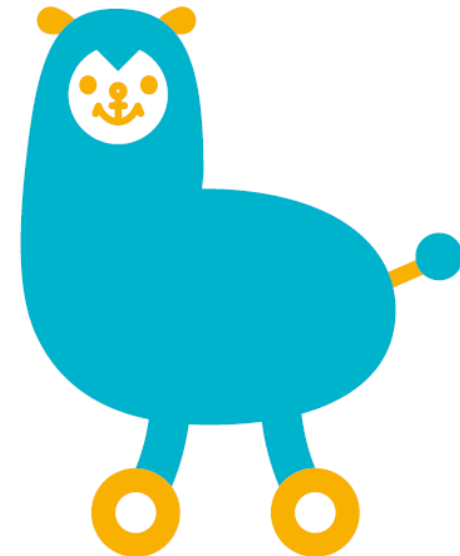


平成24年度の活動ポイント

『海外学習』

『公益認定法人取得』

『軽自動車減税』

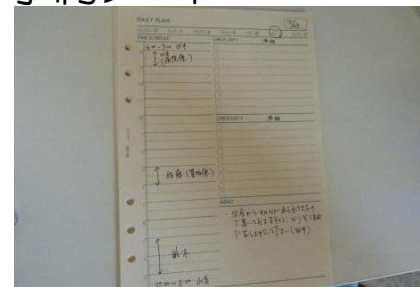


< 基本的な仕組み > ● 運行日誌

- 名義 日本カーシェアリング協会名義
- 保険 協会が各車両毎に掛ける。
1口1000円の寄付(くるま基金)で捻出
- 車庫証明 利用者の代表「正会員」の自宅が
「使用の本拠」各利用場所で車庫証明
を取得。
- 鍵の管理 「正会員」に委託された担当者が管理。
(利用頻度の高い人が管理)
- 申込み
退会届 代表(正会員)が窓口。
利用申込書と免許証のコピーを提出。



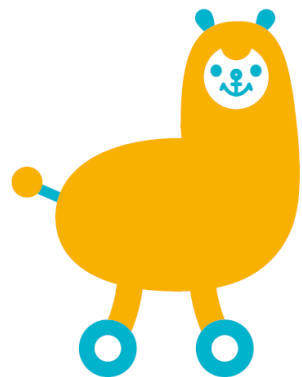
● 予約ノート



● カンパ



基本的な型。それ以外のルールは、利用者の方に任せている。



<想定していた課題と現状>

●もめごとの原因に…

把握している件数 0件

●一人の人が独占して…

頻繁に利用する人とそうでない人が共存。現状特に不満は生まれていない場合が多い。

●活用されない…

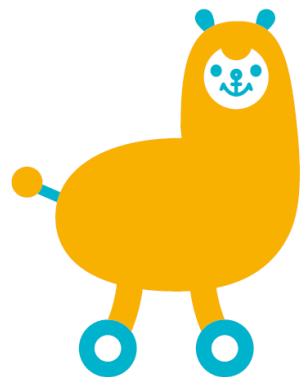
時間と共に活用頻度増える。

●予約が重なるのでは…

1台あたり5名程度。予約が重なる苦情はほとんど聞かない。
(送迎している場所でもう1台要望あり)

●マナーが守られないのでは…

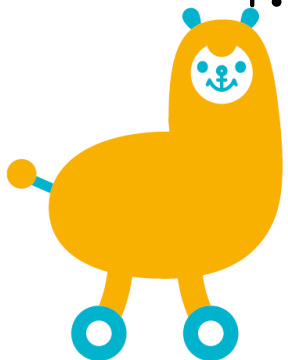
・煙草の吸殻 1件
・ガソリンが満タンになっていなかった… 2~3件



大きな経費負担が訪れるこれからが正念場

<これからの課題と対策>

1. 車両のより活発な活用
→利用者巡回、毎月イベント
2. 各車両の経費負担への対応
→利用者巡回、減税、保険商品研究、経費サポート
3. 組織の自立的な経営
→会費有料化、法人賛助会員の獲得
4. 地元への引き継ぎ
→地元雇用の促進



一歩ずつ前に進めます

<プロジェクトを進める上で私が大切にしている事>

1. 動く

できることから、手元にあるものから、一人から。

2. 一人

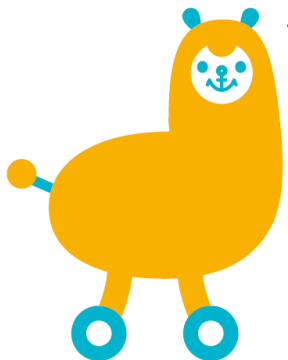
一人から無限の可能性が生まれる

3. 機会

人が活躍できる・成長できる機会を作る事から
コラボレーションが生まれる。

4. 雛形

小さくても、綺麗に、丁寧に…



全部やるうとはしません。

ご静聴ありがとうございました。

Su:ton & Ro:ly
@ishinomaki



日本カーシェアリング協会

Japan Car Sharing Association

<http://www.japan-csa.org/>